MONTHLY
連合埼玉
VOL.320　2018年10月1日

発　行　日本労働組合総連合会埼玉県連合会（連合埼玉）
発行人　佐　藤　道　明
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-5-19（あけぼのビル2F）
TEL048-834-2300（代表）毎月1日発行（購読料は会費に含む）
JTUC

記事内容
☆2018年度政策制度県要請
☆第2回地協議長・事務局長会議/西日本豪雨災害支援カンパ
☆災害ボランティア救援隊研修/チャリティーゴルフ大会結果報告
☆青年委員会「ユースラリー」/労働委員会からのお知らせ
☆SDGs特集
☆北方四島交流事業参加報告
☆地方委員会公示/10月の行動予定
☆あけぼのビル

勤労者・生活者の視点でまとめた 9分野20項目の要請

2018年度政策制度要請を上田知事へ手交

9月19日（水）、連合埼玉は上田清司 埼玉県知事に対し2018年度政策制度要請書を提出した。

初めに近藤会長から「連合埼玉は『働くことを軸とする安心社会』をめざして取り組んでいる。雇用労働政策、福祉社会保障政策、子育て・介護政策そして防災対策など、安心して働き続けることのできる社会、人と人とが信頼でつながる社会の構築に向けて、今年は9分野20項目の要請としてまとめた。要請の策定に当たっては構成組織や地域協議会の組合員から意見を集約し、勤労者・生活者の視点でまとめた。ぜひ勤労県民の総意として受け止めていただき積極的に検討いただきたい」と要請文書を手渡した。

要請を受けた上田知事は、「働き方改革。労働関係は既に様々な権利擁護がされているが、実態として反映されていないため、法律で改めて縛らなくてはいけないことが残念な状況だと理解している。誰もが各々の天分を活かし、いきいきと働ける、障害がある人もない人も、常に自分自身の能力や才能を発揮できるような体制づくりが大事だと思っている。しかし、経済環境に恵まれた人たちとそうでない人たちとの差が出てきており、経済産業政策あるいは労働雇用政策の中で徹底的に見直していかなくてはと考えています。ブロック塀の助成の件は、東京都の小池知事の提言で、森林保護も兼ねて塀に木材を活用することを研究していくことになり、こうした動きなどもしっかりやっていきたいと思っています」と挨拶された。

今後は10月に県の関係部局と話し合いを持ち、平成31年度の予算編成に反映されるよう取り組みを進める。また、各地域協議会においては11月から12月にかけて該当エリア内の市町村に対し、政策制度要請をおこなう予定となっている。

近藤会長より上田知事へ要請書を手渡し

※要請内容は、連合埼玉ホームページに掲載していますのでご覧ください。

政策制度要請と政治について共有認識をはかる

～　2018年度第2回地協議長・事務局長会議を開催　～

9月6日（木）あけぼのビルにおいて、12地域協議会より22名が参加し、2018年度第2回地協議長事務局長会議を開催した。

冒頭、近藤会長より「本日、北海道にて地震が発生しており、死者もでていると報道がある。また、西日本豪雨や台風21号でも多くの尊い命が犠牲になった。本日お集まりの皆さんは、組合のトップで活躍されている。災害時、当事者となった場合は、周りを見ながら、先頭にたって行動して頂きたい。また、2月の第1回会議後にも、中間選挙がそれぞれの地域であったと思う。良かった点や反省点、課題を共有し、今後の活動にいかしていきたい」と挨拶があった。

冒頭挨拶する近藤会長

議事では、2018年度政策制度要請における市町村要請を中心とした説明や、「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」に関する確認、地協活動報告の提出依頼等をおこなった。政策制度要請については、参加者より「学校教育における労働教育」「認知症対策」「待機児童問題」「公契約条例」等の多岐にわたる意見が出された。また来年、施行される第19回統一地方選挙の対応方針や地方議会議員選挙候補者基準の見直し、第25回参議院選挙の基本方針についても、説明し、意思統一をおこなった。

質問をする地協役員

会議の様子

助け合いの気持ちをつなげ一日も早い被災地の復旧・復興を

西日本豪雨災害支援カンパ

9月6日（木）浦和駅西口にて、西日本豪雨災害支援カンパをおこなった。カンパ活動は「第2回地協議長・事務局長会議」の終了後におこなったこともあり、多くの議長・事務局長に参加をいただき、総勢20名にてカンパへの協力を呼びかけた。

当日のカンパ金は合計24,657円となった。カンパ金は特に被害が大きかった広島県、岡山県、愛媛県への義援金などに活用する。

西日本豪雨（平成30年7月豪雨）は、6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心とした記録的な豪雨により、各地で河川の氾濫や、浸水害、土砂災害などが発生し、亡くなられた方も220名を超す甚大な被害となった。また、豪雨から2ヶ月が経った9月5日時点においても、1,541名がいまだ避難生活を続けられており、不便な生活を強いられている。

西日本豪雨ではその被災地が広域であることから、連合広島、連合岡山、連合愛媛などが中心となりボランティアを実施しており、岡山・愛媛においてはお盆休み前に一旦終了となっているが、広島においては継続しており、9月初旬の時点でその参加者は3,600名を超している。

また、連合は7月20日から11月30日を期間として、全国でのカンパ活動の実施も決定しており、連合埼玉としても、当面の取り組みとしてふれあい募金会計からのカンパ金20万円を拠出したうえで、今後、12の地域協議会と連携し、県内各地にてカンパ活動を実施していく。

カンパ活動の様子

災害ボランティア救援隊員研修（中級編）

9月1日（土）、鴻巣市にある埼玉県防災学習センターにおいて「災害ボランティア救援隊・隊員研修（中級編）」を開催した。東日本大震災から7年が経過し大震災が風化しつつある中で、7月には西日本を中心とした記録的な豪雨被害が発生したこともあり、危機意識を持ち続けなくてはいけないという観点から、スタッフを含め20名の隊員でセンターの4種類の防災体験をする研修を開催した。

地震体験ではいきなり震度7の揺れを体験、手すりにつかまっていないと立っていられない揺れで、あらかじめたん笥など家具を固定しておく必要性を実感した。次は煙体験室となり、煙が発生する薄暗い廊下を約20メートル、低姿勢のまま壁伝いに避難する体験をした。そして風速30メートルの暴風体験では、立っているのも目を開けているのも大変な暴風を体験した。ただし、体験では前方から大きな扇風機で一方向に風を送っているが、実際の台風では様々な方向から暴風が来るため、もっと厳しいとの説明があった。最後に消火器を使った初期火災消火訓練となり、激しく炎が燃える映像が映し出された大型ディスプレーに向かって消火器を使い消火を体験した。

消火体験

講師：菅克己氏

参加者は、地震や暴風などの体験に驚きながらも、いざという時に落ち着いて行動するには、日ごろからの訓練や、危機意識を維持することが重要であると痛感した。

その後、防災士の菅克己氏（元県議会議員）を講師に招き、「埼玉県における防災・減災の取り組み」について講義があった。

首都直下型の大地震が発生した場合、参考にしなくてはいけないのは東日本大震災の津波被害ではなく、阪神淡路大震災の被害状況を教訓にしなくてはいけないこと。特に犠牲者の大半は建物倒壊によるもので、災害時に自衛隊や消防は助けに来てくれない、隣人や家族が救出しなくてはいけないことを学んだ。

連合埼玉災害ボランティア救援隊では、いずれ発生するであろう関東の災害に対して、迅速に対応できるよう、今後も研修を積み重ね、さらなる隊員の資質向上をはかっていく。

連合埼玉第28回チャリティーゴルフ大会結果

9月13日（木）に、おおむらさきゴルフ倶楽部にて、構成組織・地域協議会・福祉事業団体・関係諸団体とのスポーツ交流会として、172名の参加のもとチャリティーゴルフ大会を開催した。

当日は多少暑さを感じる時間帯があったものの、天候にも恵まれ絶好の交流日和となった。

チャリティー募金は174,911円となり、「西日本豪雨災害支援」に活用させていただく。

優勝した本田敬憲さん

順　位	グロス	ハンデ	ネット	組織名	氏　名
優　勝	91	20.4	70.6	連合東京	本田　敬憲
準優勝	80	8.4	71.6	熊谷・深谷・寄居地協	関口　恒雄
3　位	98	25.2	72.8	自動車総連	大木　貴士
ベストグロス	80	8.4	71.6	熊谷・深谷・寄居地協	関口　恒雄

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

青年層の連携を強め更なる活動の活性化を

青年委員会「ユースラリー」

連合埼玉青年委員会は8月25日（土）～26日（日）に越生町中央公民館、ゆうパーク越生にて、「2018年度ユースラリー」を構成組織、青年委員幹事を含め、総勢21名で開催した。

初日は質問形式のアイスブレイクで緊張をほぐし、基調講演となる「組織のSDGs×LEGOワークショップ～誰一人取り残さない職場を目指して～」を、こども国連環境会議推進協会の井澤友郭氏より講演いただいた。「SDGs（持続可能な開発目標）」は言葉では聞いたことはあるが、具体的には何なのか？難しいのでは？といった状態から、カードゲームとLEGOブロックを使い、意識・理解を深めていく内容となった。カードゲームは経済・社会・環境の3つの問題に対して様々なプロジェクトを解決しながら、2030年に向けより良い世界を想像していく。また、その世界をLEGOブロックで自由に表現する。ペアワークとグループワークで、皆が表現し合い、「誰一人取り残さない世界（職場）」を目指し共感した。

夜の懇親バーベキューも大盛り上がりで話は尽きることなく、構成組織の枠を越え深夜まで語り合った。

二日目は青年委員会活動報告として、年間活動や平和行動、自然体験学習の報告をおこない、青年委員会活動の理解を深めた。

また、近藤会長より「青年層に期待すること」をテーマに講演をいただき、近藤会長の経歴と共に、組合員と家族を幸せにするためには、いかに職場の声に耳を傾けるか、即ち「活動の原点は職場にあり」という事を学んだ。

青年委員会では、今後も青年層の更なる活性化と充実を目指し活動していく。

（青年委員会　副委員長　龍口 隆二）

参加者のみなさん

職場でのトラブル解決を労働委員会がお手伝い

埼玉県労働委員会は、公労使三者構成により中立・構成な立場で、あっせん※や不当労働行為の審査をして、労働者（労働組合）と使用者（会社など）とのトラブル解決のお手伝いをしています。連合埼玉からは、5名の労働者委員のうち4名の役員派遣をしており、現在も活躍していただいています。

埼玉労働委員会よりお知らせ

労使トラブル　円満な解決のお手伝いをします

「解雇・雇止め」「パワハラ」「セクハラ」など会社に訴えても改善されずお困りのことはありませんか。県労働委員会が中立・公平な立場であっせんを行い、労働者と会社とのトラブル解決をお手伝いします。手続きは簡単・無料、秘密厳守です。どうぞご利用ください。

問い合わせ　埼玉県労働委員会事務局　TEL 048-830-6452

※「あっせん」とは…労働組合と使用者との間で、紛争を自主的に解決することが困難な場合に、あっせん員が双方の話し合いをとりもったり、主張を調整したりして、解決のためのお手伝いをします。申請は労使どちらかでも可能です。また、労働組合に加入していない場合には、「個別的労使紛争のあっせん」を利用することができます。

特集:「SDGs」って何?

SDGsとは?

SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。「エスディージーズ」と読みます。日本としても、連合としてもその達成にむけ、積極的に取り組むこととしています。

SDGsは持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。また、達成度を測るための230の指標値があり、その進捗がモニタリングされ定期的にフォローアップされるのも大きな特徴です。

SDGsはなぜ必要なのか?

SDGsの前身として、MDGs(ミレニアム開発目標)があり、主に途上国の社会開発が目標でした。21世紀に入り、地球温暖化などの気候変動や、各国内での格差の広がりなど様々な課題が顕著になってくるなか、MDGsの次の15年を担う、また、先進国も含む世界共通の新たな目標が必要となりました。

具体的な目標を見てみよう

目標8を例に具体的にSDGsのターゲットをみてみましょう。目標8には、12のターゲットが設定されています。記載したのは一部ですが、連合の運動に大きくかかわっていることがわかるかと思います。

8. 働きがいも経済成長も

すべての人々のために持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する。

(ターゲット例)

8.1　1人当たりの経済成長率の持続(途上国は年7%以上)

8.3　雇用創出、起業、生産性向上、技術革新を促す政策の実施による中小企業の成長の奨励

8.5　完全かつ生産的な雇用およびディーセント・ワーク、ならびに同一労働同一賃金を達成する

8.8　労働者の権利保護と安全・安心な労働環境の促進

SDGs達成のために

SDGsの17の目標は経済・社会・環境に分類されますが、これらは密接に結びついており(不可分)、統合的に取り組むことが必要であり、また、SDGs達成のためには各国政府や国際機関だけでなく、NGO、労働組合、市民一人ひとりの貢献が必要です。

引き続き関心をよせていただき、「自分ごと」として、積極的な取り組みをお願いいたします。

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

進むロシア化、早急な四島返還実現を

北方四島交流事業参加報告（副事務局長　近藤 正人）

8月23日（木）～8月27日（月）の日程にて、北方四島交流訪問事業に参加し、実際に国後島と色丹島を訪問する機会を得ました。

北方四島交流事業は、日本国民と北方四島在住ロシア人との相互理解の促進を目的のひとつとしており、旅券（パスポート）・査証（ビザ）なしによっておこなわれる交流事業です。

今回の訪問事業で特徴的な点についてのみとなりますが、その様子や感じたことをレポートします。

国後島の様子

国後島の中心集落である古釜布（ふるかまっぷ）より上陸しました。建物はカラフルに塗装されたものが多く、日本の雰囲気はありません。また、ここ数年で開発が急ピッチに進んでおり、古釜布では道路もほぼ舗装されていました。走っている自動車はほぼ日本車で、ランクルなど大型四駆がほとんどです。

島内視察では新設の教会やスポーツ施設のほか、子ども園を見学しました。国後島では子どもが急増しており、待機児童もいるとのことでした。

商店視察にも行きました。店内には品質が少し悪いですが青果物もあり、並んでる商品は種類も豊富で非常に充実していました。

商店の様子

色丹島の様子

色丹島では港には大手水産・建設企業「ギドロストロイ」の近代的な水産加工工場が今年度中の稼働をめざし建設中で、500名程度の雇用も見込んでいるとのことでした。色丹島ではあまり道路の舗装が進んでいませんでしたが、2年内の開発を予定しているとのことでした。

見学した水産加工工場

色丹島は1956年の日ソ共同宣言において平和条約締結後には日本へ返還するとなっていることもあり、これまで色丹島は開発が遅れぎみと聞いていましたが、ここ数年で開発が急ピッチに進んできているようです。

日本人墓地墓参

今回の訪問事業では、国後島の古釜布日本人墓地、色丹島では斜古丹日本人墓地を墓参しました。墓石に刻まれた日本語を目にすると、間違いなく日本人がこの地で暮らしていたのだと思わされました。

斜古丹日本人墓地

文化交流事業

今回の訪問事業では、日本の文化紹介として雅楽、お茶、ちぎり絵などを紹介し、実際にロシアの方にも体験してもらいました。ロシアの方の積極的な参加もあり、非常に盛り上がりました。

お茶の体験会

また、ホームビジットとしてロシアの住居も訪問させていただきました。手作りのケーキでのもてなしをいただき、また、一緒にデザートづくりもおこないました。お互い言葉に苦労しながらでしたが、笑顔あふれる楽しい時間を過ごすことができました。

ホームビジット先にて

最後に

文化交流事業で、日本人と北方領土に住むロシア人との相互理解は進んでいると感じました。一方では、開発が進むほど日本の支援の必要性が低くなり、交渉がより困難になることから、早急な四島返還の実現が必要だと改めて感じました。

「平和行動in根室」は、残念ながら今年は北海道胆振東部地震の影響により中止となってしまいましたが、連合埼玉としても四島返還実現に向けた積極的な運動を展開していきたいと思います。みなさんのご協力をお願いします。

2018年9月10日
日本労働組合総連合会
埼玉県連合会
会 長　近藤　嘉

公 示

連合埼玉規約第27条ならびに第29条にもとづき、第21回地方委員会を下記のとおり開催する。

記

1. 日　　時　　2018年11月15日(木)10:00～
2. 会　　場　　浦和ワシントンホテル　3階・プリムローズ
さいたま市浦和区高砂2丁目1番19号
TEL:048-825-4001(代)
3. 主要議事　　(1)2019年度 活動計画(案)について
(2)2019年度 予算(案)について
(3)役員の一部交代について
(4)その他

以上

現在予定される10月の日程表です

10月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	月	①第3回労働政策委員会(14:00～15:30・連合埼玉会議室) ②第2回男女平等参画推進委員会(16:00～17:30・連合埼玉会議室)	
2日	火	第2回組合役員教育プログラム運営委員会(16:00～・連合埼玉会議室)	①連合関東ブロック代表者会議(14:00～・ホテルラングウッド) ②埼玉公務労協「第5回総会」(18:30～・あけぼのビル)
3日	水	「ディーセント・ワーク&最低賃金周知」街宣(18:00～・大宮駅東口)	
4日	木	第11回四役・執行委員会(～5日・ホテルベルセルバ)	
5日	金		
6日	土		
7日	日		
8日	月		
9日	火		
10日	水		①第3回地方連合会代表者会議(14:00～17:00・浦安ブライトンホテル東京ベイ) ②川越・西入間地域協議会「第5回幹事会」(18:30～・ネット21川越)
11日	木		第78回中央委員会(10:00～15:00・浦安ブライトンホテル東京ベイ)
12日	金	①2018年度「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～、15:00～・さいたま共済会館) ②「女性のためのSTEP UPセミナー(中級編)」(10:00～17:00・あけぼのビル3F)	
13日	土	「女性のためのSTEP UPセミナー(中級編)」(10:00～・あけぼのビル3F)	UAゼンセン埼玉県本部「第7回定期大会」(14:00～・浦和ワシントンホテル)
14日	日		JEC連合埼玉地方連絡会「第17回定期総会」(14:00～・ときわ会館)
15日	月	2018年度「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～・15:00～・三高サロン)	
16日	火		連合「支えあい・助け合い運動推進小委員会」(15:30～・連合会館)
17日	水	2018年度「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～、15:00～・キングアンバサダーホテル熊谷)	さいたま市地域協議会「第8回幹事会」(18:30～・ネット21大宮)
18日	木	①ネット21「第5回運営委員会」(9:30～・連合埼玉会議室) ②埼玉シニア連合「第6回四役会・第7回幹事会」(13:00～・14:30～・連合埼玉会議室)	
19日	金	2018年度「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～、15:00～・川越東武ホテル)	①自治労埼玉県本部「第78回定期大会」(11:00～・さいたま共済会館) ②2018連合中央女性集会(13:00～17:15・よみうりホール)
20日	土		2018連合中央女性集会(10:00～13:00・TKP市ヶ谷カンファレンスセンター)
21日	日	連合埼玉議員会議「2019年度総会」(14:00～・あけぼのビル)	草加市議会議員選挙告示日
22日	月		
23日	火	組合役員教育プログラム修了証書授与式(16:00～・連合埼玉会議室)	参議院議員大野もとひろと日本の未来を考える会(18:30～・ホテルルポール麹町)
24日	水		
25日	木		①埼玉労福協「地域労福協代表者会議」(13:00～・全労済埼玉推進本部) ②埼玉労福協「政策制度会議」(15:00～・全労済埼玉推進本部)
26日	金		①北埼玉地域協議会「第9回幹事会」(18:30～・羽生市民プラザ地下) ②埼玉労福協「2018年度役職員研修会」(～27日・岩手県)
27日	土		
28日	日		草加市議会議員選挙投・開票日
29日	月		
30日	火		
31日	水	政策制度要請に対する関係部局との話し合い	

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

Akebono Building

あけぼのビル

事務局長　佐藤 道明

◆組織の力を最大限に

連合埼玉は来年4月の第19回統一地方選挙ならびに7月の第25回参議院選挙に向けて、第8回執行委員会（7/10開催）にて第19回統一地方選挙対応方針（その1）を確認した。また、第10回執行委員会（9/4開催）では第25回参議院選挙の基本方針を確認し、2つの選挙をスタートさせた。

第19回統一地方選挙においては、第9回執行委員会（8/7開催）より候補予定者の推薦行為を始め、現在、県議会5名、市議会（さいたま市含む）11名の推薦を決定している。今後は立憲民主党の公認・推薦候補ならびに国民民主党の公認・推薦候補の推薦依頼がそれぞれの政党県組織から連合埼玉に上がってくる。

第25回参議院選挙においては、10構成組織が比例区組織内候補者の擁立を決定している。10名の組織内候補者の所属政党は立憲民主党が5名、国民民主党が5名であり、2つの政党からの立候補となる。どんなに丁寧に表現しようとも連合の組織票が分散してしまうことは言うまでもない。

組織内候補者さらには推薦候補者全員の当選を果たすことは、「働く者・生活者」の立場に立った政治勢力を拡大することとなり、「働くことを軸とする安心社会」をめざす連合の政策実現に向けて極めて重要である。参議院選挙は政権の中間評価の機会でもあり、その意味で次期参議院選挙では、民主主義がないがしろにされている日本の政治状況が国民から厳しく問われて然るべきである。

また同時に、野党再生のひとつの試金石でもあり、次期総選挙に向けた重要な足固めの場でもある。次期参議院選挙を健全な議会制民主主義を取り戻す極めて重要な取り組み、かつ政権交代可能な二大政党的政治体制の一翼を担う勢力構築の足がかりと位置づけ、連合に集うそれぞれの組織が最大限の力を発揮しなければならない。あわせて、第19回統一地方選挙は参議院選挙に向けて大きな意味を持つことは言うまでもない。

◆政治活動の必要性

私たちの暮らしは政治と深くつながっている。労働組合は賃金や労働条件の維持・向上、職場環境の改善などに取り組んでいるが、私たちの暮らしの向上には、職場内、企業内の労使間だけでは解決できないことが数多くある。働く環境に影響する様々な法律、暮らしに直接影響する税や社会保障などは国や地方自治体によるところが極めて大きい。

連合は組合員のみならず、すべての働く人たち、その家族のための政策・制度をつくり、政治活動をつうじてその実現をはかっている。連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」を構築する手段として、政治活動は重要であり、政治を動かすためにも私たち労働者の立場に立った政策を実現する政党・政治家の存在が必要である。

◆労働組合の政治活動

労働組合の政治活動と言えば「選挙運動」を思い起こす人が多いと思うが、政治活動と選挙運動はイコールではない。政治活動の大きな柱のひとつに選挙運動があることは事実ではあるが、他にも政策を立案して実現する活動、政治教育活動、組織を充実・強化する活動などがある。

「政策実現活動（政策・制度要求）」は、勤労者・国民の立場に立って政策を立案し、国会をはじめとする各級議会をとおしてその実現をはかる活動である。また、審議会などに代表を派遣し、行政に私たちの意見を反映させる取り組みも重要な政策実現活動のひとつと言える。

「政治教育活動」は、組合員に政治活動の重要性を理解してもらい、選挙運動などの取り組みに参加してもらうための活動である。「なぜ政治活動に取り組むのか」「なぜ○○党を支援するのか」「連合の取り組みはどうなっているのか」など、加盟組合・構成組織・連合の各レベルで、様々なテーマに関して継続的に教育活動をおこなうことが、充実した政治活動の基盤になる。

「組織強化活動」は、労働組合にとって日常の取り組みであり、必ずしも政治活動と呼ぶべきものではないかもしれないが、民主的な組織運営や成果を引き出す日常的な活動を積み重ねることで組合員の執行部に対する理解と信頼は向上し、政治活動への参加と協力を得る基盤となる。こうした信頼の上に立った政治活動は、組織に活力を与え、組織強化の大きな力となる。

「連合の政治理念」には、次のように示されている。「連合は、政府、政党などとは異なる自主的組織としての主体性を堅持しつつ、目的と政策を共有する政党および政治家と協力して、労働者とその家族の労働と生活環境の改善をはかり、真の『ゆとり・豊かさ』を実現する」。

私たちは国や地方自治体に直接働きかけられるよう、「連合の政治理念」を共有できる政党や政治家と連携・協力していく必要がある。第19回統一地方選挙ならびに第25回参議院選挙の闘いは既に始まっている。共に頑張ろう。

2018.9.22